

# 地震本部の広報活動の実施状況と 今後の予定

平成29年3月13日  
地震本部事務局

○地震本部では、地震調査研究の成果が国民一般にとって分かり易く、防災意識の高揚や具体的な防災行動に結びつくものとするとともに、国や地方公共団体等の防災関係機関の具体的な防災対策に結びつくようにするための方策を検討・実施している。

○効果的な広報活動を実施する観点から、関係機関との連携強化に取り組むこととしており、今般、気象庁と連携した広報活動を実施した。

(1) 文科省・気象庁合同の防災イベントの開催

(2) 地域の特徴に応じた活断層解説資料等の作成

# (1) 文科省・気象庁合同の防災イベントの開催

ぎゅっとぼうさい博！2017  
～1日でぎゅっと防災・減災が身につく博覧会～  
(主催:文科省・地震本部)

## 【目的】

- ・地震・防災に関する興味を持ってもらい、「防災の基本を1日で取得できる」ことを目的にした博覧会。
- ・国立研究開発法人、学校防災、自治体、産業界等との連携による、新たなコラボレーションの機会及び効果的な普及展開の創出。

## 【メインターゲット】

一般国民、特に防災への関心が低く災害時に予備情報が不足しがちな若者・子育て世代や災害弱者となりがちな子供・女性



「知って」「そなえる」体験型防災イベント  
「大地震へのソナエ」  
～あなたの「たいせつ」を守るために～  
(主催:気象庁)

## 【目的】

「首都直下地震」を含む陸域の浅い地震を正しく理解し、事前の備え、地震発生時の適切な避難行動及び発災後に必要な知識を高める機会とする防災啓発イベント。

## 【メインターゲット】

主に子育て世代・女性



2つの防災イベントを同時開催することにより、

- ・一般国民の幅広い世代への地震・防災分野の研究等の成果・取組の普及、防災知識向上・防災行動の変革
- ・文科省、気象庁の他、自治体や産業界との連携による総合防災に関する普及啓発の枠組みの創出が期待できる。

## 開催概要

日時：平成29年2月18日（土） 10:00～16:00

場所：池袋サンシャインシティ文化会館2階展示ホールD

ぎゅっとぼうさい博！2017

【主催】文部科学省、地震調査研究推進本部

【共催・協力・事務局】

公益財団法人地震予知総合研究振興会、国土強靱化（内閣官房国土強靱化室）、内閣府（内閣府防災）、豊島区、日本防災産業会議、日刊工業新聞社、一般社団法人防災ガール、株式会社防災&情報研究所

【後援】公益財団法人日本財団、九都県市首脳会議、東京都

【出展・講演団体】

文部科学省、株式会社NTTドコモ、Facebook、株式会社セブン&アイ・ホールディングス、熊本県、NTTタウンページ株式会社、一般社団法人防災ガール、東京大学地震研究所、京都大学防災研究所、東京大学生産研究所、総務省消防庁、千葉県教育委員会、NTTレゾナント株式会社、練馬区、防災科学技術研究所、国土交通省国土技術政策総合研究所、気象庁気象研究所、株式会社構造計画研究所、防災かあさん、公益社団法人全国公民館連合会、株式会社パブリックビジネスジャパン、NHK

【来場者数】約3,000人

# 【主なイベント内容】

## ○防災スペシャリストへの道

各展示・体験ブースには、防災・減災のエキスパートたちが「今日から使える防災知識」を教えてください。「ACTION FOR BOSAI」で、あなたも防災のスペシャリストに！

## ○防災ヒューマンライブラリー

防災エキスパートが、ビブスを着てみなさんをお待ちしています！会場全体が防災の図書館のように変わります。



# 【主なイベント内容】

## ○「今日からはじめるソナエ」セミナー

さまざまな防災・減災のエキスパートたちが、研究や、取り組み紹介を行いながら、「今日からはじめるソナエ」などをお教えします。

- ・「熊本地震から学ぶ災害情報の活用と防災対策の実践」  
防災科学技術研究所 李 泰榮 氏
- ・「熊本地震—そのとき—市民として、指定管理者として」  
(株)パブリックビジネスジャパン 萩原 宣 氏
- ・「地域から始める防災まちづくりの進め方」  
東京大学生産技術研究所 加藤 孝明 氏
- ・「NHKスペシャルや災害時の緊急報道におけるビッグデータ活用最前線」  
日本放送協会 阿部 博史 氏
- ・「隣り合わせの地震と防災ライフ～ゼロから始めるマナビとソナエ～」  
文部科学省 和田 弘人×(一社)防災ガール 筒木 愛美 氏
- ・「大規模災害発生時の事前準備→初動→収束まで(熊本地震の事例)」  
(株)セブン&アイ・ホールディングス 堂本 敏雄 氏



# 大地震へのソナエ

【主催】気象庁

【共催】日本赤十字社、内閣府、文部科学省、豊島区

【後援】消防庁、東京都、東京消防庁

【協力】資生堂ジャパン株式会社、日本損害保険協会、豊島消防署、NPO法人日本トイレ研究所

## 【主なイベント内容】

○ステージ(身近な地震防災についてのトークショー)

- ・「大地震へのソナエ」  
気象庁 青木 元さん
- ・「Dr.ナダレンジャーの地震防災実験ショー」  
防災科学技術研究所
- ・「科学を身近に 自分、たいせつな人を守る力にしよう」  
地震調査研究推進本部 国崎 信江さん ほか

○ワークショップ

- ・避難時に役立つ美容法(資生堂ジャパン(株))
- ・災害時のトイレの使い方を学ぼう!(NPO法人日本トイレ研究所)
- ・Dr.ナダレンジャーといっしょに工作ゆらゆら(気象庁)
- ・「わたしのつくるが、あなたをまもる」デコホイッスル作り!(豊島区(ツクモル by Toshima))
- ・ぼうさいダック 日本損害保険協会 ほか

○ブース展示

- ・かるたで学ぶ赤十字の防災(日本赤十字社)
- ・防災体験コーナー・地震ザブトン(豊島消防署)
- ・家庭内備蓄紹介・ミニクイズ・「東京防災」の紹介(東京都) など

【来場者数】約1,200人



写真提供: 気象庁

## (2) 地域の特徴に応じた活断層解説資料等の作成

### ○パンフレット「活断層の地震に備える ー陸域の浅い地震ー」

#### 1. 背景

平成28年(2016年)熊本地震は、「陸域の浅い場所」で発生した地震で、甚大な被害が生じた。

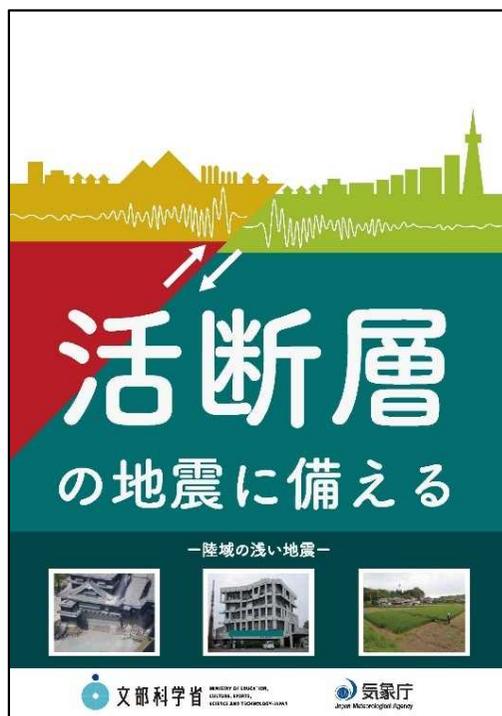
このことを踏まえて、住民一人ひとりが「陸域の浅い地震」をよく理解して、事前の備えを促進していただけるよう、文部科学省と気象庁が共同で普及啓発資料「活断層の地震に備える ー陸域の浅い地震ー」を作成することとした。

#### 2. 概要

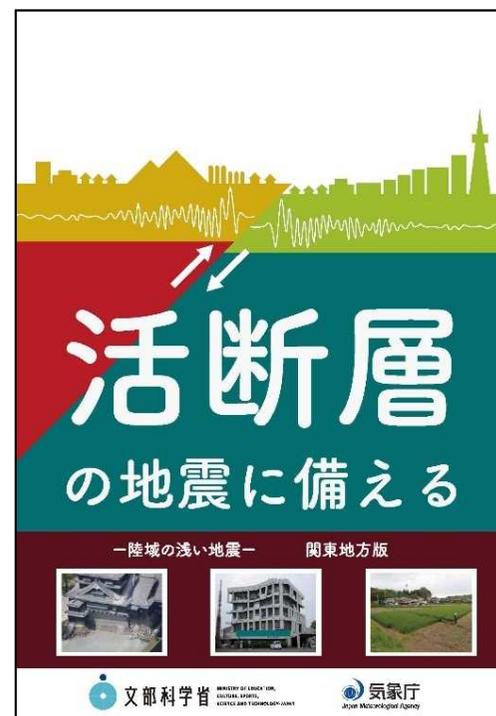
- 《全国版》
- ・陸域の浅い地震と活断層
  - ・過去の地震と被害
  - ・活断層による地震の長期的な発生予測と揺れの予測
  - ・被害の特徴と備え など
- 《地方版※》 (全国版に加えて)
- ・各地方の活断層の特徴や地盤と揺れの予想
  - ・各地方の主な過去の被害地震 など

※北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州・沖縄の8地域

## 《全国版》



## 《関東地方版》



- ・全国版及び関東地方版を先行して公表(平成29年2月15日)し、2月18日開催の防災イベントでも来場者に配布した。
- ・ホームページからダウンロード可能  
文部科学省(地震調査研究推進本部):  
<http://www.jishin.go.jp/resource/pamphret/>  
気象庁:  
<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/katsudansou/index.html>

## ○今後の予定

- ・パンフレット「活断層の地震に備える ー陸域の浅い地震ー」は、残りの地方版を順次作成、公開する。
- ・作成したパンフレットを活用して、地元の気象台が自治体の防災担当者を対象に説明会等を開催する。  
その際は、地震本部事務局から説明者を派遣することも考慮する（全国キャラバン）。
- ・学校関係者への配布も行い、学校教育での活用を働きかける。